



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 プレス工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7246 URL <http://www.presskogvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角堂 博茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 矢原 洋

TEL 044-276-3901

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	135,589	4.0	6,822	△9.7	7,310	△4.6	4,597	7.6
25年3月期第3四半期	130,366	4.0	7,556	△13.3	7,661	△10.0	4,274	△9.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 7,328百万円 (64.7%) 25年3月期第3四半期 4,450百万円 (△28.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	42.32	—	
25年3月期第3四半期	39.34	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	147,927	—	63,648	—	40.1	—	545.56	
25年3月期	128,935	—	58,498	—	41.6	—	493.40	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 59,268百万円 25年3月期 53,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	1.1	9,400	5.8	8,900	△7.9	5,000	△10.5	46.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	114,007,210 株	25年3月期	114,007,210 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,367,586 株	25年3月期	5,357,999 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	108,645,811 株	25年3月期3Q	108,652,406 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの自動車関連事業の国内生産は、国内向けは復興需要の継続により、普通トラック・小型トラック共に前年同期に比べ増加しました。輸出は、普通トラックは前年同期に比べ減少しましたが、小型トラックは前年同期に比べ増加しました。

タイの生産は、第3四半期は前年同期に比べ減少しましたが、当累計期間では前年同期に比べ増加しました。北米の生産は好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。

建設機械関連事業の国内生産は、国内向けは前年同期比増で推移しましたが、輸出は第3四半期に入り回復の兆しが見られるものの前年同期に比べ減少し、全体としては前年同期に比べ減少しました

中国の生産は、底打ち感が見られるものの、本格的な回復に至らず、前年同期に比べ減少しました。

このような事業環境の中、当社グループは生産性向上活動や合理化諸施策を継続的に推し進め、収益基盤の強化を進めております。また、日本においては、新工法を取り入れた大型アクスル用のプレス設備・溶接設備・機械加工設備を関係各工場に導入し、量産を開始しました。これにより、今後さらなる競争力の強化を図ってまいります。

海外事業展開につきましては、新規に受注した当社コア商品の量産開始や生産準備活動をグループ各社において進めており、新たな受注活動にも継続的に取り組んでおります。

- ・タイ：TSPKKグループにおいて、次期1 tピックアップトラック用フレーム及び新規受注アクスルの生産準備活動を計画どおり実施中。
- ・中国：普萊斯工業小型駕駛室(蘇州)有限公司(PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO., LTD.)において、2013年11月よりミニショベル用キャビンの一貫生産を開始し、徐々に生産量が増加。
- ・インドネシア：PT.PK Manufacturing Indonesiaにおいて、2014年1月より中・小型トラック用フレーム部品を量産開始。
- ・米国：PK U.S.A., INC.において、2014年6月に米系自動車メーカー向けのアクスル部品を生産開始予定。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,355億89百万円(前年同期比4.0%増)となり、営業利益は68億22百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益は73億10百万円(前年同期比4.6%減)、四半期純利益は45億97百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(自動車関連事業)

国内の普通トラック需要は53千台と前年同期に比べ4千台増加し、小型トラック需要も63千台と前年同期に比べ8千台増加しました。

輸出は、普通トラックは前年同期に比べ減少しましたが、小型トラックは北米向けの好調の継続により前年同期に比べ増加しました。

タイにおいては、当社子会社TSPKKグループの売上高は前年同期に比べ増加しましたが、第2四半期以降は1 tピックアップトラックの需要が減少しており、生産量の減少に応じた対策を実施しました。

米国においては、経済の回復に伴う自動車需要の増加により、当社子会社PK U.S.A., INC. の売上高は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,177億24百万円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益は87億5百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

(建設機械関連事業)

国内向けの生産は、復興需要や排ガス規制前の駆け込み需要の継続により堅調に推移しました。輸出は、北米・欧州は堅調に推移し、中国の需要も第3四半期は前年同期を上回りました。しかしながら、東南アジアでの需要の減少や、資源価格下落に伴う鉱山機械需要の減少により、当社及び当社子会社協和製作所の売上高は前年同期に比べ減少しました。

中国においては、第3四半期以降は需要の底打ち感が見られるものの、第2四半期までの落ち込みの影響により、当社子会社蘇州普美駕駛室有限公司(PM CABIN MANUFACTURING CO., LTD.)の売上高は前年同期に比べ減少しました。

インドネシアにおいては、当社子会社PT.PK Manufacturing Indonesiaは、当地における建設機械需要の減少に

より、計画に対し売上高が減少しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は195億円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益は6億36百万円（前年同期比65.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、1,479億27百万円となり、前連結会計年度末比189億92百万円の増加となりました。その主な要因は、建設仮勘定の増加によるものであります。

負債は、842億78百万円となり、前連結会計年度末比138億41百万円の増加となりました。その主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

純資産は、636億48百万円となり、前連結会計年度末比51億50百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は40.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日付で公表した予想を変更いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,178	13,974
受取手形及び売掛金	26,344	29,850
商品及び製品	689	727
仕掛品	8,188	12,090
原材料及び貯蔵品	1,104	1,211
未収還付法人税等	245	14
その他	3,121	3,621
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	51,872	61,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,595	10,025
機械装置及び運搬具（純額）	16,601	16,681
土地	31,528	31,659
その他（純額）	10,043	16,081
有形固定資産合計	67,769	74,447
無形固定資産		
のれん	—	969
その他	301	681
無形固定資産合計	301	1,650
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,105	10,452
貸倒引当金	△112	△112
投資その他の資産合計	8,992	10,339
固定資産合計	77,063	86,437
資産合計	128,935	147,927
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,300	22,894
電子記録債務	5,013	6,624
短期借入金	14,342	11,621
未払法人税等	1,192	1,171
賞与引当金	2,546	1,670
引当金	128	100
その他	5,956	10,103
流動負債合計	49,480	54,186
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	10,000
長期借入金	7,626	6,369
再評価に係る繰延税金負債	8,844	8,844
引当金	395	455
資産除去債務	406	406
その他	3,682	4,015
固定負債合計	20,956	30,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債合計	70,437	84,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	28,604	32,169
自己株式	△1,187	△1,191
株主資本合計	37,561	41,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,107	1,662
土地再評価差額金	16,013	16,013
為替換算調整勘定	△1,074	470
その他の包括利益累計額合計	16,045	18,145
少数株主持分	4,890	4,379
純資産合計	58,498	63,648
負債純資産合計	128,935	147,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	130,366	135,589
売上原価	114,422	119,968
売上総利益	15,943	15,621
販売費及び一般管理費	8,387	8,798
営業利益	7,556	6,822
営業外収益		
受取利息	66	67
受取配当金	66	98
雇用調整助成金	13	1
貸貸収入	70	66
為替差益	243	535
その他	25	85
営業外収益合計	485	855
営業外費用		
支払利息	365	331
その他	14	36
営業外費用合計	379	368
経常利益	7,661	7,310
特別利益		
固定資産売却益	9	10
投資有価証券売却益	42	1
関係会社清算益	—	418
保険差益	7	0
その他	—	23
特別利益合計	59	454
特別損失		
固定資産除却損	64	157
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	—	0
クレーム費	373	—
子会社清算損	10	—
特別損失合計	449	157
税金等調整前四半期純利益	7,271	7,606
法人税、住民税及び事業税	1,956	2,499
法人税等調整額	825	422
法人税等合計	2,781	2,921
少数株主損益調整前四半期純利益	4,489	4,684
少数株主利益	215	87
四半期純利益	4,274	4,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,489	4,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	555
為替換算調整勘定	111	2,088
その他の包括利益合計	△38	2,643
四半期包括利益	4,450	7,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,198	6,697
少数株主に係る四半期包括利益	252	631

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	106,749	22,380	129,130	1,235	130,366	—	130,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	527	1,332	1,859	—	1,859	△1,859	—
計	107,277	23,713	130,990	1,235	132,226	△1,859	130,366
セグメント利益	8,263	1,855	10,119	82	10,201	△2,645	7,556

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,645百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	116,351	18,129	134,480	1,109	135,589	—	135,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,373	1,371	2,745	—	2,745	△2,745	—
計	117,724	19,500	137,225	1,109	138,334	△2,745	135,589
セグメント利益	8,705	636	9,342	78	9,420	△2,597	6,822

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,597百万円には、セグメント間取引消去△32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,565百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。